

ひがしの子

令和6年7月19日
岐阜市立岐阜東幼稚園
園長 広瀬 みゆき

1学期間、ご理解ご協力くださり、ありがとうございました！



夏まつり、楽しかったね。

17日に「夏まつり」が行われました。ちょっと天気が心配だったので、すべてのコーナーが室内になりました。

夏まつりに向けて、子ども会議（たいよう会議）で話し合ってきました。「どんなことがやりたいか。」「どんな夏まつりにしたいか。」「小さい組の子たちが喜んでくれるにはどうしたらよいか。」など、みんなで話し合ってきました。21人いるので、思いもそれぞれ……。やりたいこともいろいろです。いろいろ話し合った結果、「虫捕り」「おばけ」「プラネタリウム」と、遊戯室を3つに分けて行うことになりました。

「虫捕り」は、“小さい子たちに虫を捕らせてあげたい”という思いがありました。さっそく自分たちで段ボールで木を作っていました。その行動力に感心しました。家に帰っても、夏まつりのことを考えている子もいました。虫を折り紙で作るために折り方を調べてきたり、タモを考えてきたりなど……。

虫捕りは、段ボールで作った木に磁石を貼り、作った虫にはクリップを付けて磁石のところに貼り付けるといったものです。それをタモで取ることになりました。そのアイデアにも感心しました。年中の頃に、磁石で遊んできた経験から、こういう方法を考え出したようです。自分の経験を活かしていますね。



トカゲ釣りもありました。これもおもしろく、段ボールの木の幹の中に、クリップのついたトカゲを入れ、磁石のついた釣り具で釣ります。虫捕りもトカゲ釣りも、初めはうまくいかないこともあり、「磁石がすぐとれる」とか、「虫がすぐ落ちる」とか、「トカゲがなかなかつれなくて難しい」などです。

そういったことも、遊びながら、試しながら修正していきました。虫やトカゲも、「大好き」な気持ちがあふれていて、一生懸命折り方を見て折ったり、色や形を工夫したりしていました。好きだからこそ、作ることに気持ちが入ります。

「おばけ」は、初めはお化けトンネルを作りました。ブラックライトを使うことで、きれいな色になります。“怖い”だけでは小さい組の子が怖がるからと、きれいなトンネルにもこだわっていました。色画用紙を丁寧に貼って、カラフルなトンネルを仕上げていました。

そのうち、自分たちがお化けになって驚かすことに気持ちが向き始めました。白い布をまとったりしてお化けに扮すると、“追いかっこ”のようになってしまうこともありました。しかし、話し合いの中で、追いかっこを狭い場所ですると「危ない」ことや、小さい子たちが「怖がる」ことにも、気づいていきました。その後は、衣装もさらに進化し、絵本やタブレットで調べて、それぞれがなりました。「猫娘はシャーッっていうといいんじゃない？」など、どう



やって驚かすかなども考えていました。一度にたくさん入ると危ないので、案内係を買って出る子もいましたよ。

「おばけ」のコーナーは、仕切りやトンネルが必要なので、段ボールを切ったり、たくさん塗ったり、描いたりという作業もありました。段ボールカッターも、上手に使っていました。ちょっぴり怖くて、たくさん楽しいお化けコーナーになりました。

「プラネタリウム」は、Aくんが家で作ってきた段ボールで作ったプラネタリウムがきっかけです。みんなが「わー、きれい！」となり、みんなが各々に作り始めました。初めは「マイ プラネタリウム。」で、自分のものを作っていました。それが、次第に“もっと大きいもの” “みんなで見れるもの” となり、大きな段ボールで作ることになりました。その後も、“どうしたらもっときれいになるか？” “壁じゃなくて上（天井）に映るようになるには？” “虹みたいに作りたい” などといろいろな願いが出てきました。家でいろいろ調べたり、作ったりして来てくれる子もいました。休日におうちの方に本物のプラネタリウムに連れて行ってもらった子が、「本物は音楽が流れていたよ。」と教えてくれたことで、音楽も流すことになりました。



天井に映したいとなったのは、幼稚園での七夕たのしみ会の経験からのようです。様々な経験から、それぞれの思いを形にしていきました。プラネタリウムは、担当の子どもたちが、順番に交代しながら、ライトで照らして映し出していきます。そのコンビネーションも素敵でした。

どのコーナーもひとつクリアすると、“もっとこうしたい！” “こういうものを作りたい！” と、願いが高まっていきました。

教師が中心となり、その都度話し合ったり、相談したり、知恵を出し合ったりしながら形にしていきました。話し合いながら創りあげていく経験は、今後の遊びにも活かされていくことと思います。

その他のコーナーも、楽しく取り組みました。ボランティアの保護者の皆様、本当にありがとうございました。お話コーナー、楽しかったですね。幼児教育課の先生が「保護者の方なんですか?!」と驚いていらっしゃいました。各コーナーのボランティアの皆様のおかげで、どの子どもみんな楽しめました。感謝の気持ちでいっぱいです。



自分で捕まえたザリガニは格別・・・

なつめ組は、「なつまつりごっこ」が流行しています。屋台のイメージでたこ焼きやかき氷などを作ったり、お店を開いたり、花火を作ったりと、各々のイメージの夏まつりを楽しんでいます。

そんな中、登園の時に、幼稚園の横の用水路にたくさんザリガニがいることに気付いた子がいました。駐車場から歩いて、東門から登園してくる際に気付いたようです。ある日の給食後、ザリガニを捕りに行きたいことを職員室まで訴えに来てくれました。私が連れていくことになったのですが、人数が多くなったので、教頭先生もついてきてくれました。用水路にはザリガニがたくさんいるのが見えました。でも、柵がある隙間にタモを入れて取らなければなりません。何回か挑戦して、取ることができました。

Aちゃんは、大人が手伝わなくても、自分一人でも捕ることができました。保育室に戻ってからも、ザリガニのお世話で一生懸命です。住むところを作ったり、エサは何かを調べたり・・・。今までも生き物を飼育していましたが、自分たちで捕ったものはやはり格別なようです。思い入れがあるのでしょうか。今の時代、パソコンやタブレットなどでザリガニの動画や写真はたくさん見ることができます。でも、自分たちで苦労して捕ったザリガニ、そして、友達が捕ったザリガニだからこそ、身近に感じ、実際に触ることで初めて気づくことや、その生命に触れることができると思います。今回、なつめ組の子どもたちの生き生きとした姿から、改めてそのことを感じることができました。幼児期の今、こうした実体験を大事にしていきたいと思います。

(その後、行事の関係や私の出張、天候でなかなか行く機会が作れませんでした。なつめさん、ごめんなさい。また行こうね！)



本部役員の方と、岐阜市教育委員会教育長訪問に行ってきました。

教育長をはじめ事務局長など、丁寧に対応していただき、市P連として要望を伝えていただきました。和やかな雰囲気の中、心強いお言葉をいただきました。改めて、後日、市P連だよりを通して報告していただきます。本部役員さん、ありがとうございました。



明日から44日間の夏休みが始まります。子どもたちには、終業式で気を付けることなどをお話しました。ある子は「(夏休みは)楽しいことがたくさん詰まっている!」と言っていました。素敵な表現だなと思いました。

皆様、ケガや病気に気を付けて、楽しい夏休みをお過ごしください。

1学期間、温かいご支援、ご協力くださりありがとうございました。

2学期もよろしくお願いいたします。